

## 第3次行財政再構築プランの進捗状況 (平成30年9月末現在) について

行財政再構築の着実な推進を図るため、第3次行財政再構築プランの進捗状況については、庁内の行財政改革推進本部に報告し、評価を受けるとともに、半期ごとに有識者・市民により構成する行財政再構築推進委員会に報告を行い、意見や助言を得ることとしている。

今回は、各プログラムの平成30年9月末現在の進捗状況について報告する。

### 1 各プログラムの平成30年9月末進捗状況

平成30年9月末現在のスケジュールの進捗状況については、全43項目（再掲2項目）の取組のうち、41項目が「予定どおりに進捗」、2項目が「予定よりも遅れている」となった。今回の進捗状況は主に進行状況について評価を行っているが、年度末の評価では成果も踏まえ評価を行う予定である。

【表1】各プログラムの進捗状況（平成30年9月末現在）

分野	予定以上に 進捗 (S)	予定どおりに 進捗 (A)	予定よりも 遅れている (B)
I 地域協働の推進 (7項目)	0	7	0
II 情報の共有と双方向のコミュニケーション (3項目)	0	3	0
III PDCAサイクルの構築 (6項目)	0	6	0
IV 財政基盤の強化 (14項目)	0	12	2
V 執行体制の再構築 (13項目)	0	13	0
計	0	41	2

【参考1】 予定よりも遅れている取組一覧（2項目）

No	項目名	平成30年9月末 進捗状況	今後の取組
20	財政指標の改善	<p>・経常収支比率の改善のため、平成30年度予算事務担当者説明会において、予算執行の指針を示し、契約差金の凍結など、経費節減に対し何ができるかを意識するとともに、創意工夫を凝らした取組を依頼した。また、次年度の予算編成に向けて、経常的経費の削減方法について課内で検討するとともに、企画政策部内においても検討した。</p> <p>・2号補正予算後において、財政調整基金は、積立額7.7億円に対して取崩額12億円となり、残高は前年度比4.3億円減の24.4億円となった。公共施設整備基金は、取崩により残高は前年度比2.6億円減の19.6億円となった。</p>	<p>【要因】</p> <p>・平成30年度予算編成において、財源不足を補うために積立て以上に取崩しが多くなったため、残高が減となった。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>・契約差金による執行残は原則凍結し、真にやむを得ない流用のみ認めるなどの管理に努め、余剰財源の積立てによる基金残高の確保を図る。</p>
25	受益者負担の適正化（使用料・手数料の見直し）	<p>・これまでの施設所管課との調整を踏まえ、所管課と庁内検討会議を3回（4月、5月、8月）開催したほか、作業部会を重ね、実現性のある見直し方法について検討している。</p> <p>・しかし、9月末時点で実現可能な考え方についての結論は出ていない。</p>	<p>【要因】</p> <p>・これまでの施設所管課との調整を踏まえ、所管課と庁内検討会議を開催し議論を行ったが、考え方の結論に至らなかった。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>・利用する人としらない人の負担の公平性を確保することを目的として、実現可能な考え方をまとめていく。</p>